

ハンブルク・ドイツ劇場専属俳優 原サチコ氏による

# 「三文オペラ」ドイツ語ワークショップ

ドイツ語圏で俳優として14年、日々舞台に立つ原サチコ氏が、実践的な発音のコツを伝授

今回の題材は、原サチコ氏がドイツで10年に渡りポリー役を演じてきた「三文オペラ」

ドイツ語を体で話し、舌で味わうという体験。「大きい声で、人に伝わるドイツ語を話す」という体験。

ドイツ語の言葉、文章を、あなたの声、あなたの体を通して、皆と共有する体験。

ドイツ語を話す自分と日本語を話す自分の違いを発見する。

泣いたり笑ったり演技する必要は全くなし。

俳優を目指してない方も楽しんでいただけます。

さあドイツ語をアクティブに楽しんでみましょう！

日時：2014年7月18日（金）15:15-16:45（希望者は18:30まで延長）

場所：上智大学中央図書館9階 L911会議室

言語：日本語、ドイツ語

参加費無料、事前申込み不要

[内容] 基本編＜姿勢と呼吸の関係、息の運び方、口の中の使い方＞

応用編＜ドイツ語で歌う、伝え合う＞

レクチャー＜「三文オペラ」映像を見ながら＞

発展編＜戯曲を使ってのお芝居＞

＜その他＞

- ・軽い運動も行いますので、動きやすい靴、服装で
- ・本学でドイツ語を学ぶ学生の参加を優先（その他の方も一部参加・見学可）
- ・ベルトルト・ブレヒト『三文オペラ』について、内容理解の上でのご参加を推奨



＜原サチコプロフィール＞1964年生まれ。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。2001年ベルリンに移住、ドイツ語圏での演劇活動を始め数々の作品に出演。2004年、東洋人として初めてウィーン・国立ブルク劇場の専属俳優となる。2009年よりハノーファー州立劇場専属、2011年よりケルン市立劇場専属、2013年8月からはハンブルク・ドイツ劇場の専属と、ドイツ全土の公立劇場においても唯一の日本人専属俳優として活躍中。クリストフ・シュリンゲンジーフ、ニコラス・シュテーマン、ルネ・ポレシュなどドイツ演劇界の鬼才演出家の多くの作品に出演。井上ひさし作「少年口伝隊1945」をドイツ語訳し、各地での朗読も行っている。

■お問合せ先：上智大学ヨーロッパ研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学中央図書館7階 721B Tel: 03-3238-3902 E-mail: i-europe@sophia.ac.jp